

令和4年第1回定例市会(2月議会)

神戸の将来へ向けた投資型予算!



2月17日から3月31日(予定)まで予算市会が開催されています。
オミクロン株が猛威を振るっている中、2万人を超える自宅療養者のフォローアップ体制の拡充や医療提供体制の確保が必要です。ポストコロナを見据えて、ウォータフロント整備など将来への投資が入った予算となっています。併せて、福祉・教育など人への投資が必要です。皆様の大事な税金が皆様の安心安全のために配分されるように厳しい目に対応していきます。

1 新型コロナウイルス感染症対策

感染症対策：103億4,700万円

- ・3回目のワクチン接種、コールセンター、副反応窓口の設置：85億7,800万円

医療提供体制強化：59億600万円

- ・コロナ患者受け入れ支援、病床数の拡大：9億8,200万円
- ・自宅療養者に対する支援
(電話やオンラインなど夜間休日の受診体制、食料・衛生品セットの送付など)
- ・宿泊療養施設の拡充：44億円

コロナ禍に直面する市民支援：4億4,700万円

- ・ひとり親家庭への支援：6,000万円
- ・子育て世帯への支援：3,600万円
- ・失業中・休業中の求職者支援：1,400万円

2 福祉・健康

がん検診の環境整備：11億1,100万円

40歳総合検診や20歳の女性を対象とした子宮頸がん検診無料クーポン、集団検診などのWEBシステム導入など

認知症の方、そのご家族支援：2億1,200万円

認知症の疑いのある方に対する初期集中支援チームによる訪問や認知症疾病センターによる相談強化

介護人材確保プロジェクト

「コウペdeカイゴ」：10億7,100万円

介護人材の確保のために、市内市域に勤務する方々の賃上げを行う。外国人介護人材の日本語学習や介護福祉士資格取得支援を行う。

令和4年度予算規模 ※()内は前年度

一般会計	8,869億円 (8,704億円)
特別会計	6,605億円 (6,535億円)
企業会計	3,330億円 (3,292億円)
合計	1兆8,804億円 (1兆8,531億円)

積極的に、昨年より273億円プラスの計上をしています。

3 危機管理・防災

高潮・津波対策：43億500万円

- ・南海トラフ地震を想定し、津波対策として防潮堤の整備
- ・洪水を想定しての河川改修：7億600万円

4 子育て・教育：228億4,200万円

妊婦に対する支援：1,100万円

- ・オンラインの両親教室の開催
- ・助産婦による支援が必要な妊婦の訪問・相談

こどもの医療費助成：49億7,800万円

入院	0-18	負担なし
通院	0-2	負担なし
	3-15	医療機関あたり1日上限400円 (月2回) 3回目以降無料

保育所定員の拡大(市内300人):18億500万円

保育人材の確保:33億1,300万円

- ・一時金の支給と宿舍借り上げ支援

中学校給食の半額助成:3億300万円

高校生の通学定期券補助:8,000万円

- ・年間14万4,000円を超える定期券の2分の1を補助する(～9月)

神戸のさらなる飛躍に向けた都心の再生

「えき～まち空間」等の事業の整備【予算額：19億4,070万円】

三宮にある6つの駅と周辺のまちを一体的につなぎ、交通拠点としての機能や回遊性を高める空間「えき～まち空間」の実現を目指して取り組みを推進している。令和4年度は、三宮クロススクエア第1段階の実現に向け都心部へ流入する通過交通を抑制し、外周道路へ円滑な誘導を促すため春日野交差点の工事を行う。

また、JR三ノ宮新駅ビル開発計画にあわせた南側駅前広場等の設計を行うほか、乗り換え動線の強化や回遊性の向上を図るための三宮駅周辺歩行者デッキの設計やさんちかの再整備を行う。これらのハード整備と併せて、官民連携によるエリアマネジメントの実現に向けて取り組みを進めていく。

そのほか、サンセンタープラザへの支援などセンター街周辺街区における再整備に向けた取り組みを推進する。



新たなバスターミナルを含む再開発ビル（イメージ）

【具体的な取り組み】

三宮クロススクエア（第1段階）の実現に向けた事業の推進

- ・JR三ノ宮駅南側駅前広場等の再整備・にぎわいの創出
- ・三宮駅周辺歩行者デッキの整備
- ・さんちかの再整備・活性化
- ・都心・三宮再整備における「自然の景」の創造
- ・エリアマネジメントの推進
- ・神戸三宮阪急ビルへのデジタルサイネージ設置に対する支援
- ・サンセンタープラザ等の再整備検討支援
- ・元町エリアにおける観光バス乗降場の試験運用



三宮クロススクエア（第2段階）イメージ

【スケジュール】

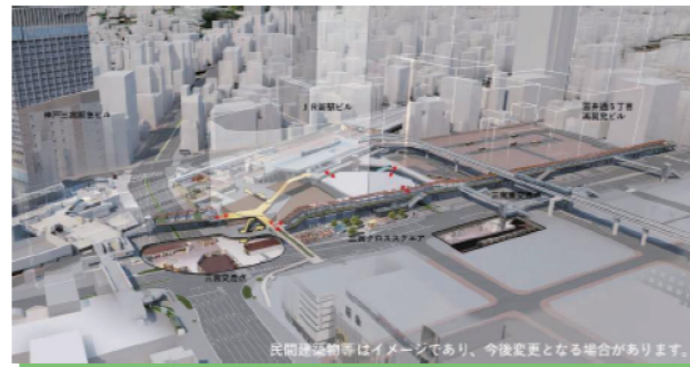
- | | |
|---------|----------------------------|
| 令和4年度 | 春日野交差点改良工事 |
| 令和5年度以降 | 三宮クロススクエア（第1段階）実現に向けた設計・工事 |
| 令和11年度 | 三宮クロススクエア（第1段階）完成（予定） |



さんちかの再整備・活性化（イメージ）

バスターミナル周辺デッキの整備【予算額：10億1,770万円】

「えき～まち空間」の実現のために、地上レベルの広場空間「三宮クロススクエア」に加えて、乗換動線の改善・拡充、新たなバスターミナル周辺でのバスと歩行者の分離、「えき」と「まち」をつなぎ歩行者の回遊性の向上を目的とした鉄道駅と新たなバスターミナル等をつなぎ歩行者デッキを整備する。



三宮駅周辺デッキ（イメージ）

【事業スケジュール】

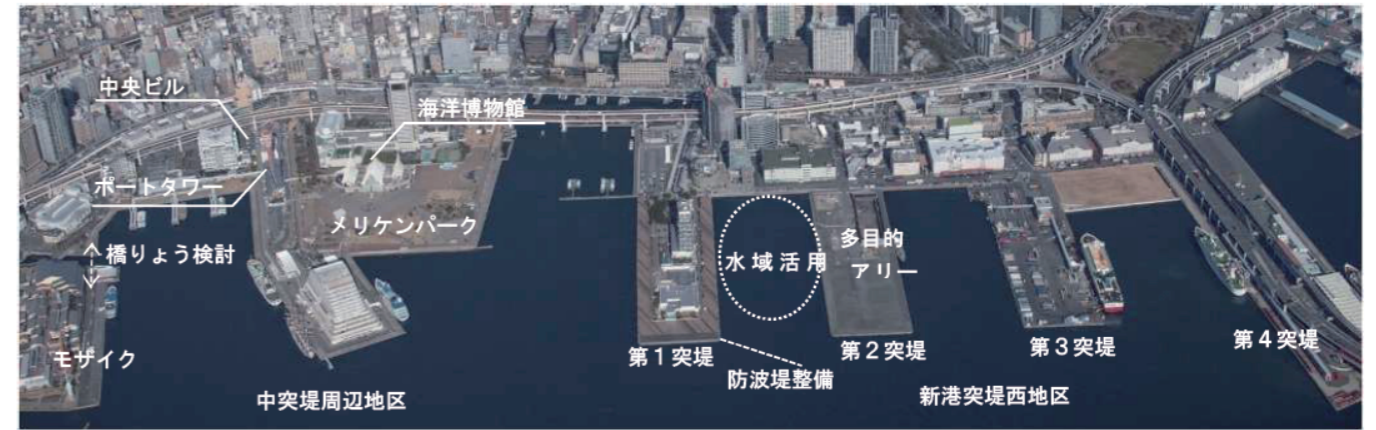
- | | |
|--------------|--------------------------|
| 令和2（2020）年度 | ：設計競技開始 |
| 令和3（2021）年度 | ：設計競技最優秀選定、基本設計 |
| 令和4（2022）年度 | ：詳細設計、雲井通5歩道橋撤去等 |
| 令和5（2023）年度 | ：工事着手 |
| 令和9（2027）年度頃 | ：完成予定（ミント神戸～新たなバスターミナル間） |
- ※ JR新駅ビル周辺のデッキについては、周辺の開発に合わせて整備予定

ウォーターフロント地区の魅力向上【予算額：38億9,310万円】

「港都 神戸」グランドデザインや神戸港将来構想に掲げる「世界から人を惹きつける神戸ウォーターフロントの形成」を目指し、新港突堤西地区では、各施設の開業が進む第1突堤基部に続き、大規模多目的アリーナの建設を予定している第2突堤の再開発事業のほか、第1・2突堤間の水域活用に向けた防波堤の整備や事業化の検討を行うとともに、次期再開発エリアの事業化に向けて取り組みを進める。

中突堤周辺地区では、開業60周年のリニューアルオープンに向けて神戸ポートタワーのリニューアル工事を進めるとともに、中突堤中央ビルの再整備の具現化に向けて取り組み、観光・エントランスエリアの機能強化を図る。

これらの面的な再開発の進捗にあわせて、ハーバーランド～中突堤～新港突堤西地区に至るウォーターフロントエリア内の回遊を促す取り組みとして、次世代モビリティの実証事業に取り組むなど、多様な移動手段の事業化を検討する。また、神戸ポートタワーのプロジェクトマッピングなど、街とアートを掛けあわせた「神戸ウォーターフロントアートプロジェクト」を実施する。

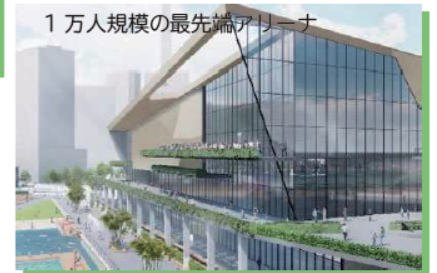


【主な事業】

- ウォーターフロント地区の再開発
 - 新港突堤西地区
 - ・新港第1・第2突堤間の水域活用の推進（防波堤整備・事業化検討等）
 - ・新港第2突堤再開発（緑地基本設計等）
 - 中突堤周辺地区
 - ・神戸ポートタワーリニューアル（令和5年度リニューアルオープン予定）
 - ・中央ビルの再整備事業の促進（中央ビル南館の解体等）
 - 回遊性向上
 - ・多様な移動手段の事業化検討・調査（次世代モビリティの実証実験、高浜岸壁への橋りょうの設計検討等）
- ウォーターフロントの賑わいづくり
 - メリケンパークのにぎわいづくり（ウォーターフロントアートプロジェクト推進）
 - 花火・イルミネーションによる夜間景観の形成



新港第1・第2突堤間水域活用（イメージ）



1万人規模の最先端アリーナ 新港第2突堤再開発（イメージ）



イルミネーション（イメージ）



中央区における予算の概要

中央区役所・中央区文化センター整備【予算額：19億6,479万円】

【現状(背景)】

竣工から約40年が経過して老朽化が進む中央区庁舎および勤労会館について、平成30年7月に策定した「新中央区総合庁舎整備基本計画」に基づき、中央区役所と中央区文化センターを市役所3号館跡に一体整備する。令和4年7月に供用開始を予定している。

【事業概要】

<建物概要>

- ・構造：鉄骨造(免震構造) ・階数：地下1階、地上12階建て
(2~8階：区役所、1階、9~11階：文化センター)
- ・延床面積：約19,300㎡
うち区役所 約12,400㎡、文化センター 約4,900㎡
駐車場等 約2,000㎡

【事業スケジュール】

令和2年8月 新庁舎建設工事着工、令和4年7月 供用開始(予定)



区役所・文化センター(イメージ)

磯上体育館の整備・磯上公園の再整備【予算額：4億3,768万円】

【現状(背景)】

磯上公園は都心の貴重なオープンスペースであり、現在は有料のグラウンドとしてスポーツを中心に利用されている。

平成30年7月策定の新中央区総合庁舎整備基本計画において、「体育館・体育室は磯上公園に配置」とした整備方針を定めた。この方針のもと、2019(令和元年)年度から体育館の設計に取り組み、2021(令和3年)年度工事着手、2022(令和4)年7月の供用開始を予定している。



磯上体育館(イメージ)

地区別 予算の概要

三宮周辺

- ・三宮図書館の仮移設
令和9年に新たな三宮図書館の整備までの間の仮図書館「KIITO2階」
- ・さんちかの再整備
- ・元町エリアの交通円滑化
- ・観光バスの乗降場の実験検証
- ・生田川右岸線の機能強化
- ・ポートタワーのリニューアル
- ・ハーバーランド東ブリッジ橋工事
- ・東遊園地の活性化：3億900万円

新神戸駅

駅前広場の再整備(令和4年設計、令和6年末供用開始)

JR神戸駅

駅前広場の整備・地下タワー式駐輪場の整備
ポートループの神戸駅延伸

ポートアイランド

リボーンプロジェクトの推進
青少年科学館のリニューアル、スポーツセンターの整備
南公園のリノベーション、クリーンセンターの解体
ポンプ場の更新・高潮発生時の緊急道路確保対策
中央市民病院の路線バスの無料化

HAT神戸

ミュージアムロードの魅力向上

各小中学校での整備

こうべ小学校：校舎増築(令和4年度に工事を実施)
湊小学校：暫定校舎の整備、体育館への空調新設、
学童保育の整備
上筒井小学校、宮本小学校、中央小学校
・体育館・特別教室への空調新設
雲中小学校、筒井台中学校、布引小学校
・特別教室への空調新設

さらに詳しい予算の内容は
神戸市ホームページをご覧ください

